

紙上交流誌 わっか

令和5年3月1日
第64号
1回発行

発行所 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会
〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-12-2 仙台市福祉プラザ8階
TEL 022-266-0294 FAX 022-266-0292
Eメール: office-p@shinsyou-sendai.or.jp

編集 紙上交流事業編集委員会
仙台市知的障害者関係団体連絡協議会
特定非営利活動法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

写真、イラスト、短歌、俳句、紹介、募集などの記事(点字のものでも可)を、お手紙やFAXで随時募集しております。なお、投稿記事の文字数は、800字程度とさせていただきます。

「障害者週間のポスター」

最優秀賞作品

「障害者週間のポスター」は、「障害の有無に関わらず誰もが能力を発揮して、安全に安心して生活できる社会実現」をテーマに平成5年度から募集を行っているものです。今年度は15点の応募をいただきました。昨年東京2020パラリンピックが開催されたこともあり、障害者スポーツや心のバリアフリーを題材とした作品が例年より多く寄せられました。

選考の結果、小学生部門では仙台市立袋原小学校4年の菊地悠惺さんが、中学生部門では仙台市立南光台中学校3年の半澤美海さんが最優秀賞を受賞されました。

小学生部門の菊地悠惺さんの作品は、エレベーターの前で車いすに乗った人が、ボタンの位置が高くて押せなくて困っているにも関わらず、近くにいる人はスマートフォンを操作して、見て見ぬふりをしていない様子を描かれており、思いやりを持ってほしいという思いが込められています。

た作品です。

中学生部門の半澤美海さんの作品は、「一緒」を意味する手話が中央に描かれ、その周りには介助者と絵を描いている車いすに乗った人、ほじょ犬を抱きしめる人や白杖を持つ人が介助者と楽しそうに歩く様子が描かれており、人間はみんな一緒だということが表現されている作品です。

小学生部門 最優秀賞

題名: 見て見ぬふり?

仙台市立袋原小学校4年
菊地悠惺さん



●作品に込めた思い

エレベーターによつては、車いすの方が押せる位置にボタンがないも

のがあり、押そうと思っても押せないの、押せる人が声をかけるのが大事。ということ表現しました。

中学生部門 最優秀賞

題名: 一緒

仙台市立南光台中学校3年
半澤美海さん



●作品に込めた思い

障害を持った人ももっていない人と同じにスポーツや芸術、いろんなことができるんだ、みんな一緒の人間なんだということをポスターにつめこみました。



「わっか」の「わ」は身体・知的・精神障害者の「話」であり、おしゃべりすることで「輪」を広げ、「和」を進めよう、という意味が込められています。

仙台市障害者による
書道・写真・絵画コンテスト
入賞作品決定

仙台市障害者による書道・写真・絵画コンテスト（第37回障害者による書道・写真全国コンテストの予選を兼ねる）の審査会が新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策を講じて令和4年9月1日（木）に行われました。今年度は書道の部69点、写真の部19点、絵画の部50点の応募があり、審査の結果、書道、写真、絵画の各部門で金賞2点、銀賞4点、銅賞6点が選ばれました。入賞者は次のページのとおりです。

（作品の一部は第37回障害者による書道・写真全国コンテストに推薦しています。絵画の部は全国コンテストがございませんので、推薦はありません）

各部門金賞作品のテーマやコメントをご紹介します。

書道の部
金賞



出町 隼 哉 さん
『天地』

●作者コメント
元気に力強く書くことが出来ました。



大田 大 輝 さん
『蛭』

●作者コメント
父親の転勤で息子が4歳から6歳まで過ごした福島では、家の近くで蛭をたくさん見る事ができました。家族の大切な思い出です。（母）



写真の部
金賞



小林 大 輝 さん
『秋を走る』

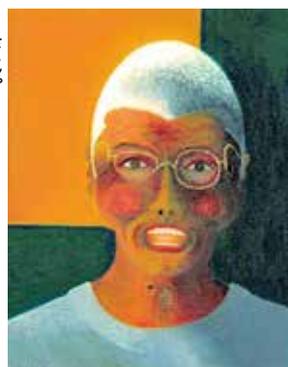
●作者コメント
大好きな電車をかつこ良く撮りたくて、いろんな場所ですりんな角度で撮りました。周りにススキがたくさん生えていて、最初は、じやまだなーと思ってましたが、逆に電車を引き立ててくれました。



お 織 田 信 一 さん
『定義の秋』

●作者コメント
五重塔と紅葉のコラボをイメージして撮影しました。見えないので、何枚も写真を撮って、何枚も大きく引き伸ばしてもらって、その中の一枚を選びました。

絵画の部
金賞



加 藤 文 雄 さん
『自画像』

●作者コメント
あえて日焼けした肌の色にしました。



櫻 井 洗 さん
『白布の滝（十和田）』



令和4年度 仙台市障害者による書道・写真・絵画コンテスト入賞者一覧

【書道の部】

敬称略

賞	氏名	作品名	賞	氏名	作品名
金賞	出町隼哉	天地	銅賞	中村泰子	翔
金賞	斎藤大輝	螢	銅賞	伊藤光夫	太陽
銀賞	田中琴絵	枇杷	銅賞	長谷川洋子	山
銀賞	武藤裕生	流星	銅賞	早坂惇	未来
銀賞	柴崎優美	百人一首より	銅賞	柳田利章	「海」
銀賞	佐藤芳江	清風	銅賞	浅野和子	和

【写真の部】

敬称略

賞	氏名	作品名	賞	氏名	作品名
金賞	小林輝	秋を走る	銅賞	佐藤広和	最上川と鯉のぼりとさくら回廊
金賞	織田信一	定義の秋	銅賞	千葉弘	牛飼童子・当主を先導
銀賞	増田咲花	すまいる	銅賞	佐野礼子	古木(米沢・上杉神社)
銀賞	渡辺加津子	夕日をバックに	銅賞	伊藤みつお	上杉博物館“伝国の杜”
銀賞	眞壁啄也	紅葉ベンチで休憩	銅賞	岩崎友紀子	魅せられて
銀賞	わが妻進之	カヌー初体験!!	銅賞	伊藤怜央	参拝へ

【絵画の部】

敬称略

賞	氏名	作品名	賞	氏名	作品名
金賞	加藤文雄	自画像	銅賞	笠松亮介	ぼくの夏休み～大好きなカブトムシ～
金賞	櫻井洸	白布の滝(十和田)	銅賞	石川武志	夜霧
銀賞	もり森日出夫	My Wife	銅賞	はり針生祐樹	げっ光
銀賞	佐藤竜太	ありがとう中村先生	銅賞	よし吉田ひろ子	朝食の準備
銀賞	あき山祥子	バラ - 2022 -	銅賞	よし吉田真由美	マーブル(うさぎ)
銀賞	ふくぶく	龍の通り道	銅賞	にし西山佳佑	パステル3色



「ポッケの森活動の様子」
 ●利用者 佐々木由佳さんの作品
 小学生の頃から習字を習っていたま
 した。
 お習字をしていると、心が落ち着
 きます。



●**ボッチャ特訓中!**
 就労継続支援B型ポッケ(太白区人來田)は、仙台市長杯仙台市ボッチャ大会に出場するため、只今特訓中です。4名×4チームが、それぞれ宮城野区大会、若林大会に挑戦します!



●**音楽活動**
 週に2回の活動でピアノに合わせてリズム体操が行われたり、利用者さんが歌いたい曲をリクエストして上手に歌ったりしています。



●**きぼう園行事紹介**
 きぼう園では一年を通じて様々な行事が行われています。直近の行事として、新年集會が行われました。その中で、福笑いを皆で面白可笑しく行いました。



●**創作活動**
 また、太鼓打ちも行われており、各々がピアノの演奏でリズムを取りながら、一生懸命集中して太鼓を叩いています。



●**作品(自画像と職員(の)絵)**
 作者 家庭福祉会きぼう園 三浦 怜さん
 日中活動では他にも創作で塗り絵等が行われています。風や今年の干支の兎の絵がカラフルに塗られ、出来上がった作品が壁に飾られています。



●**作品への思い**
 大好きな職員と自分の絵を描いて、その職員へプレゼントしました。上が僕です。

